

◆ 私たちの思い

みなさまに支えられた赤十字活動

令和5年度 事業報告・会計報告



© 渋谷敦志



苦しんでいる人を救いたい…

それが私たちの原点です
私たちは、いつ、いかなる時も
その思いを胸に活動しています
その活動を支えているのは、
みなさまからお寄せいただいた「活動資金」です

日本赤十字社大阪府支部では、国内災害救護や救急法等の講習をはじめ、
「いのちと健康を守る」さまざまな活動を行っています。
多くの人の心にある「苦しんでいる人を助けたいという思い」を、
赤十字が「さまざまな活動やもの」に変えて、
身近な地域から国境を越えた場所までお届けしました。
この冊子では、みなさまからお寄せいただいた活動資金をもとに、
当支部が令和5年度に行った数々の活動を写真や数字等でご紹介します。
あたたかいご支援、本当にありがとうございます。



令和5年度にお寄せいただいた活動資金の総額

10億 2,776万 4,145円



国内災害救護.....P4



国際活動.....P5



赤十字ボランティア.....P6



青少年赤十字.....P7



救急法等の講習.....P8



医療事業.....P9



看護師の養成.....P10



社会福祉.....P10



血液事業.....P10



地域活動の推進..... P11





国内災害救護

Domestic Disaster Response



巡回診療を行う大阪府支部の救護班(令和6年能登半島地震)

災害時に必要とされる救護を迅速かつ円滑に行うため、次の内容を実施しました。

- ◆医療救護班等の派遣
- ◆救護資機材の整備
- ◆救援物資の備蓄
- ◆救護班の訓練・研修
- ◆義援金の受付



救護訓練に参加し、患者の処置を行う医師(堺市総合訓練)



救護用テントの組み立て訓練を行う日赤職員

♥ 国内災害救護に活用した金額 **8,298** 万円

常時配備している医療救護班の数



20 班

大阪赤十字病院 15 班
高槻赤十字病院 5 班

救護員研修の実施回数及び参加人数



6 回



320 人

医療救護班等の派遣

(令和6年能登半島地震)



4 チーム

日赤災害医療コーディネートチーム

医療救護班



12 班

こころのケア班



2 班

救護訓練の回数



9 回

救援物資の備蓄数(令和6年3月31日現在)

毛布



8,030 枚

緊急セット



1,878 個

安眠セット



550 個



国際活動

International Activities



世界中の災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、赤十字のネットワークを活かして、次の内容を実施しました。

- ◆紛争地の医療技術を高める支援
- ◆復興支援や被災地の防災力を高める支援
- ◆NHK海外たすけあいにおける広報・募金活動の実施
- ◆海外救援金の受付



がれきの中の被災者を救出にあたるシリア赤新月社のスタッフ
(トルコ・シリア地震)



負傷者の搬送にあたるパレスチナ赤新月社



災害の様子を描写する生徒に知識を確認する
インドネシア赤十字社員

♥ 国際活動に活用した金額 **100** 万円

※国際活動は、本社事業費、NHK海外たすけあい、海外救援金を財源として活動しています

海外への派遣人数

 延べ **10** 人

- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）
「シエラレオネ中央子ども病院」サービス向上プロジェクト
- ・パレスチナ赤新月社医療支援事業
- ・ウクライナ人道危機救援事業
- ・国際赤十字・赤新月社連盟ジュネーブ事務局
(ロジスティックス部門)

開発協力事業の実施

- ・インドネシア・コミュニティ防災事業

海外救援金の受付

- ・トルコ・シリア地震救援金
- ・モロッコ地震救援金
- ・リビア洪水救援金
- ・アフガニスタン地震救援金
- ・ウクライナ人道危機 など



赤十字ボランティア

Red Cross Volunteers



講義に耳を傾ける委員長
(地域赤十字奉仕団・特殊赤十字奉仕団合同委員長研修)

赤十字の活動は、ボランティア（奉仕団員）のみなさまに支えられており、今日も各地で活躍しています。

ボランティア育成にかかる研修や会議、ボランティア活動における運営助成などに寄付を活用しています。



身近なものを使った応急手当を伝える防災ボランティア



天王寺動物園とのコラボイベントに協力する青年奉仕団

♥ 赤十字ボランティアに活用した金額 ……… 2,368 万円

地域赤十字
奉仕団数



72 団



427,553 人

特殊赤十字
奉仕団数※



12 団



641 人

※無線や看護、救急法等指導員資格などの技能をもった人たちによって組織されています。

青年赤十字
奉仕団数



3 団



64 人

個人ボランティア数



119 人



青少年赤十字

Junior Red Cross



未来を担う青少年が実践活動を通して自ら「気づき、考え、実行」できるよう、次の内容を実施しました。

- ◆学校における青少年赤十字活動の推進
- ◆青少年赤十字指導者・メンバーの育成



リーダーシップ・スタディー・センターでワークショップに取り組む青少年赤十字メンバー



海外の青少年赤十字メンバーと交流する青少年赤十字メンバー
(国際交流事業)



キャリア教育の出前講座を行う当支部職員

♥ 青少年赤十字に活用した金額 **753** 万円

青少年赤十字加盟校数



378 校園所

青少年赤十字の
メンバー数



124,746 人

青少年赤十字活動

大阪府青少年赤十字メンバー・
リーダーシップ・
トレーニング・センター

1回 **46**人

大阪府青少年赤十字高校生
リーダーシップ・スタディー・
センター

1回 **32**人

国際交流事業(受入)

1回 **2**人

青少年赤十字体験学習プログラムの
実施回数及び受講者数



48 回

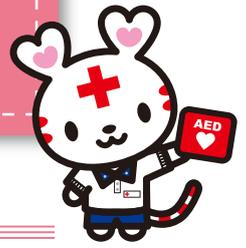


2,743 人



救急法等の講習

Safety Services



AEDの使い方や三角巾を使った応急手当を学ぶ救急法

急な病気やけがの手当、事故防止、また地域における防災・減災に役立つ知識や技術をみなさまにお伝えするため、次の講習を府内各地で開催しました。

- ◆救急法(心肺蘇生やAEDの使い方)
- ◆水上安全法(水の事故から身を守る方法)
- ◆健康生活支援講習(介護予防・介護技術)
- ◆幼児安全法(子どもの事故予防と手当)
- ◆防災セミナー(防災・減災の知識や技術)



溺れている人の救助方法を学ぶ水上安全法



健康増進の知識や介護技術を学ぶ健康生活支援講習

♥ 救急法等の講習に活用した金額 **2,891**万円

救急法の実施回数及び受講者数

176回 **6,336**人

水上安全法の実施回数及び受講者数

50回 **2,117**人

健康生活支援講習の
実施回数及び受講者数

44回

1,535人

幼児安全法の実施回数
及び受講者数

89回

2,241人

防災セミナーの実施回数
及び受講者数

47回

2,249人



医療事業

Medical Services



公的医療機関として、次の内容を実施するため、当支部から各種医療機器の整備や施設改修等に対して助成を行いました。

- ◆地域に根差した医療の提供
- ◆国内外の災害時に医師や看護師等を派遣
- ◆災害時の傷病者の受入



新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ対応を行う日赤職員(大阪赤十字病院)



医療処置を行う医師(高槻赤十字病院)



新たに整備したハイケアユニット(大阪赤十字病院)

♥ 医療事業に活用した金額 **7億6,640万円**

災害救護及び救急医療用
医療機器の整備助成



MRI装置
1台
(大阪赤十字病院)



エコー装置
2台
(高槻赤十字病院)

地域医療に貢献するために必要となる
病院機能強化にかかる整備助成

ハイケアユニット(HCU)の新設と
脳卒中ケアユニット(SCU)の
増床整備(大阪赤十字病院)

5億円

病棟改修や手術関連の医療機器等の整備
(高槻赤十字病院)

2億4,945万円



看護師の養成

Training of Nurses



実習に臨む学生

優秀な赤十字看護大学生の修学支援を目的とする奨学金制度により8名の学生に対して、当支部から奨学金を貸与し、将来病院において指導的な役割を担う看護師の養成に努めました。

♥ 看護師の養成に活用した金額 **240**万円



社会福祉

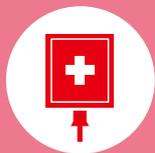
Social Welfare Services



運動会で競技に参加する子どもたち

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園では、医療型障がい児施設として、利用者の生活向上のための支援を行いました。

♥ 社会福祉に活用した金額 **151**万円



血液事業

Blood Programme



献血バスで献血に協力する男性

大阪府赤十字血液センターでは、献血ルームと移動採血車で医療需要に応じた血液を確保するために、当支部から採血用ベッドの整備に対して助成を行いました。

♥ 血液事業に活用した金額 **124**万円





地域活動の推進

Red Cross Activities in the Area



地域の赤十字奉仕団等が、防災訓練等に参加し、防災啓発活動を行いました。



炊き出しの方法を伝える奉仕団員



地域で防災啓発活動を行う赤十字防災デー

♥ 地域活動の推進に活用した金額 …………… **1億603万円**

令和5年度 活動資金収支のご報告

当支部では、赤十字活動の充実を図るため、限られた資金の中で最大の効果を上げることができるよう努めています。

(大阪府支部一般会計歳入歳出決算は、支部評議員会※1及び代議員会※2に報告し、承認を受けています。)

- ※1 評議員：各地域で選出された会員の代表の方
- ※2 代議員：各支部の評議員会で選出された代表の方

収入の部	(万円)
活動資金収入	102,776
本社交付金・補助金収入	567
積立金の取崩	39,690
テナント収入	6,556
会議室収入・負担金収入	1,926
前年度繰越金	14,931
合 計	166,446

支出の部		(万円)	
救護活動費、災害救護体制の充実・強化 (国内災害救護)	8,298	活動資金の募集・広報活動	12,172
海外での人道支援活動(国際活動)	100	将来に備えての積立	17,252
赤十字奉仕団による活動(赤十字ボランティア)	2,368	組織運営費	12,357
青少年赤十字の活動(青少年赤十字)	753	社屋の修繕費・維持管理費	4,733
命や健康を守るための知識と技術の普及 (救急法等の講習)	2,891	全国的な赤十字活動への拠出	14,674
府内赤十字施設への活動支援 (医療事業・血液事業・社会福祉)	76,915	翌年度への繰越	3,090
看護大学生への奨学金(看護師の養成)	240	合 計	166,446
地域における赤十字活動(地域活動の推進)	10,603		

※当初の見込みを上回る活動資金について、災害救護活動のための積立を行いました。
※2023年トルコ・シリア地震等の海外救援金は、収入・支出とも未計上。



活動資金にご協力ください

日本赤十字社大阪府支部では、国内災害救護、国際活動、救急法等の講習をはじめ、「いのちと健康を守る」さまざまな赤十字活動を行っています。
これらは、みなさまからお寄せいただく「活動資金」によって支えられています。

郵便局・ゆうちょ銀行からの
お振込によるご協力

口座番号:00990-4-54795

加入者名:日本赤十字社大阪府支部

※ 窓口からのお振込は、手数料が免除されます。

※ 銀行(りそな、三井住友、三菱UFJ、みずほ)からお振込みの場合は、手数料が免除となる振込用紙をお送りしますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

クレジットカードによるご協力

クレジットカードの決済でご協力いただけます。

※ 日本赤十字社のホームページ(<https://donate.jrc.or.jp/lp/>)から手続きをお願いします。



口座引落によるご協力

指定の預金口座から自動引落でご協力いただけます。

※ 専用の申込用紙に必要事項を記載していただく必要がありますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

遺贈や相続財産によるご協力 遺贈による寄付や相続財産の寄付でご協力いただけます。

■遺贈するには

遺言による方法で、財産の受取人を日本赤十字社とし、その用途を「日本赤十字社大阪府支部」の事業に指定することで、大阪府内の地域における活動に役立てることができます。

■遺産の寄付には相続税がかかりません

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内(相続開始から10か月以内)に日本赤十字社大阪府支部にご寄付いただいた場合、寄付された財産には相続税がかかりません。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

日本赤十字社にご寄付をいただいた場合に税制上の優遇措置が受けられます

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税・住民税や法人税に対する優遇措置が受けられます。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

表彰制度について

活動資金へのご協力に対し、表彰制度を設けております。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

日本赤十字社大阪府支部 振興課
(平日:午前9時～午後5時30分)

☎ 06-6943-0707

